

国際食品添加物検索ソフト TENKA のご紹介

～TENKA で何を知ることができるか～

1. はじめに

国際食品添加物検索ソフト TENKA を配信するサービスが 8 年ほど前から行われている。本稿は利用者の目線で作成に関わってきた立場から、このサービスが食品添加物の取り扱いに不便を感じている方達のお役に立てるのではと考え、また包装食品技術協会事務局のご厚意も得て「協会だより」の中でご紹介させて頂くこととなったものです。

2. 食品添加物の現状

国内の食品添加物は、指定添加物、既存添加物、天然香料、一般飲食物添加物の 4 種類があり、ものによって保存・製造基準があったり、使用時の対象食品・用途・量又は表示に規制がある。

食品添加物の加除はその都度官報告示される。性状、確認試験、含量などの規格基準をまとめたものが食品添加物公定書である。この食品添加物公定書は食品衛生法で定期的に改定することが決められている。第 8 版が 2007 年 3 月 30 日に告示されたあとを受け、酵素を大幅に追加する第 9 版が次である。

食品添加物(以下添加物と略記)の使用や表記は複雑であるため、利用を助ける多数の書籍、ネット情報がある。しかし、公定書を含めて書籍は大部となり、改訂に即応しがたく、またネット情報は添加物間の関係性を知るのに未だ十分ではない。

一方で、日本の食品原料は海外依存率が高く、国際化の中で製品の輸入も増えている。最近では国内需要の逡減を見越して海外に輸出しようとする動きが加速している。このため国内の添加物の規格だけでなく、海外規格を把握することが適切な輸出入・製造に欠かせなくなってきた。しかし、海外各国の添加物・食品衛生法についての情報、さらにはこれらを整理した情報源は少ないのが現状である。

このような状況を解消するために国内ばかりでなく、海外の規格を網羅して、更に検索性のよい情報を提供しようとして作成したのが、TENKA である。

3. TENKA で何を知ることができるか(その 1)

TENKA 掲載情報は、すべて国際機関、各国政府によって公表されたものである。海外規格は、JECFA (FAO/WHO 合同食品添加物専門家会議 (FAO/WHO Joint Expert Committee on Food Additives))、Codex 委員会 (国際食品規格委員会) 以外に EU、米国、中国、ロシア、カナダ、韓国、豪州、ニュージーランド、台湾、インドネシア、フィリピン、インド、シンガポール、マレーシア、台湾、タイ、香港、ベトナム、南アフリカ、メルコスル (ブラジル/アルゼンチン/パラグアイ/ウルグアイ) を対象にしている。今後も順次輸出入に関係する国を追加予定である。

○多方面のキーワードから検索できる

添加物名、添加物国際登録番号、食品名、用途分類名のいずれかを入力又は選択すると、各国でリストしている添加物が選び出される。許可されていない場合は非表示であるが、ネガティブリスト制による物質の場合の検索は、別途ネガティブリストの言葉を入力することで選び出すことができる。国内添加物に該当する場合、法令上の情報、添加物公定書各条なども表示される。

○国内外の許可状況を検索できる

- 国内の使用基準、EU、台湾、カナダ、オーストラリア等の使用基準値が検索できる。
- 国内外の香料における名称、成分などの公表情報が検索できる。
- 国内外の登録検査機関、輸入食品監視支援システム（FAINS）手続関係コード中の添加物及び添加物品目コード番号を検索できる
- タイムリーな更新データを入手できる。
- 国内の告示、通知は随時、海外は半年～1年以内で更新ファイルが検索できる。
- 帳票形式で印刷できる
- 検索された添加物の使用基準、性状、毒性などの周辺情報を Excel で出力できる。

4. TENKA で何を知ることができるか(その2)

添加物に限らず、食品を取り扱うために必要な多くの情報をオールインワンとしている。その一部を下記に示した。

- ・食品衛生法、食品規格、器具及び容器包装の規格、洗浄剤の規格、おもちゃの規格
- ・漬物・洋菓子・弁当及び惣菜・生めん類の衛生規範、大量調理施設衛生管理マニュアル
- ・乳及び乳製品の成分規格等に関する省令
- ・食薬区分
- ・放射線照射食品
- ・放射能汚染食品の規格
- ・遺伝子組み換え食品の規格
- ・特定原材料(アレルギー)の表示の規格
- ・加工食品・生鮮食品品質表示基準
- ・酒税法
- ・水道法水質基準ほか

5. 料金、環境設定、納入実績

最新バージョンである国際食品添加物検索ソフト「TENKA2013」の料金（消費税を含む）、及びPC（パソコン）の環境設定を一例として示した。

*1 ライセンスの場合（ご利用開始時：ソフト代金＋年間データ更新サービス費用合計）

ソフト代金：	----- ¥108,000 円/PC
年間データ更新サービス費用：	----- ¥32,400 円/PC・年(22ヵ国収載版)
年間データ更新サービス費用：	----- ¥54,000 円/PC・年(49ヵ国収載版)

*5 ライセンスの場合（ご利用開始時：ソフト代金＋年間データ更新サービス費用合計）

ソフト代金：	----- ¥432,000 円/5PC
年間データ更新サービス費用：	----- ¥108,000 円/5PC・年(22ヵ国収載版)
年間データ更新サービス費用：	----- ¥175,000 円/5PC・年(49ヵ国収載版)

いずれも2年目以降からは年間データ更新費用のみで継続頂けます。

環境設定は米国Microsoft社のSQL-Server 2008 R2 EXPRESS（無償版）をインストールしていることが必要である。Windows Vista, 7, 8, Professional, 10Pro (32bit/64bit 対応型) となっている。

納入実績は開発・製造部門ばかりでなく、原料・製品の輸出入業務の現場でも広く利用されていて、旧バージョンを含めて約400社である。

6. 検索画面の実際



検索開始画面



検索メイン画面



食品添加物基本情報検索画面



食品添加物基本情報画面

国内の食品添加物における使用基準を確認できる。



食品添加物基本情報画面

食品添加物の公的規格・基準を確認できる。



食品添加物諸外国許可状況検索画面

食品添加物における諸外国許可状況と国内の許可状況との対比が可能。国内での当該添加物が使用可能か、諸外国での許可状況がどうかを瞬時に確認できる。



食品添加物諸外国使用基準検索画面

諸外国毎での食品添加物における食品への使用基準（最大使用量等）を確認できる。



諸外国香料掲載情報検索画面



その他情報検索画面

(例：国内外食品検査機関名等)

当該検索ソフトは、各国の食品衛生法に対する合法性を素早く確認でき、更にグローバルスタンダード化に向けた活動に役立つ情報源である。

7. おわりに

本検索ソフトは平成 16 年 9 月に起案され、約 6 ヶ月間の開発期間後の平成 17 年 3 月に国際食品添加物「TENKA2005」として上市した。その後「TENKA2008」を経て、平成 25 年 2 月に「TENKA2013」とした。各ソフトはユーザーの改良・改善要望、様々なご意見を反映させてバージョンアップしている。今回は最新版をご紹介します。本文が会員の皆様の新たなニーズに応えることにつながれば幸いです。

最近、食品開発・品質管理業務向けの商品規格書・仕様書作成ソフトを本ソフトの TENKA と連携させて総合的に「食の安心・安全」を図ろうとする展開がある。連携させるソフトの一つには残留農薬の検索ソフト等もあり、これらを結び付けた運用は一步先を行く食の総合管理の提案と考えている。

詳しい内容のお問い合わせ先を下記に示した。

○株式会社 サレックス

〒156-0054 東京都世田谷区桜丘 5-40-2-203 電話 03-3427-5858

代表取締役 田邊光伸 ホームページ <http://www.surex.co.jp/>

氏家 隆：

株式会社サレックス アドバイザー

農林水産省産学連携支援事業 コーディネーター

中部大学応用生物学部 客員教授

椋山女学園大学生活科学部 非常勤講師

名城大学農学部 非常勤講師